

市立図書館、図書室の今後の在り方に関するアンケート 調査報告書

令和 7 年度調査

1 調査の背景

平成30年に京丹後市図書館協議会から示された「今後の京丹後市立図書館のあり方について(答申)」(以下「答申」。)の中で、

- ・峰山図書館は立地場所、広さ及び施設の老朽化が、大宮図書室と弥栄図書室は広さなどの課題があり、当該3施設は比較的近接していることから統合する。
 - ・統合した施設は、まちづくり・ひとづくりに貢献できる図書館として、施設面・運営面ともに十分な機能を兼ね備えた施設とする。
 - ・(統合した施設は)峰山町及び大宮町にかかる商業地域周辺に整備する。
- とされている。

また、「京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画」(以下「基本計画」。)では、京丹後市の中心部にあたる区域を「公共施設ゾーン」と位置付け、都市拠点にふさわしい子育て支援、図書館、文化・芸術活動などの施設機能を有した、人が集まり、つながる交流の拠点となる施設を目指すことが示されている。

2 調査の目的

「答申」「基本計画」「市議会附帯意見」を踏まえ、市立図書館の今後の在り方などについて、図書館利用の有無にかかわらず、広く市民の皆さんの意見をお伺いするためアンケート調査を実施した。

3 調査の設計

調査対象 全京丹後市民

周知方法 アンケート調査票を全戸配布

調査方法 アンケート回収箱への投函、インターネット(無記名方式)

調査期間 令和7年5月9日～5月30日

世帯数 22,910 世帯(49,579 人)

4 回収結果

有効回収	864人／22,910 世帯(3.8%)	世帯別(市全体)
	864人／49,579 人(1.7%)	人口別(市全体)
	426 人／11,716 世帯(3.6%)	世帯別(峰山・大宮・弥栄)
	426人／25,320 人(1.7%)	人口別(峰山・大宮・弥栄)

※世帯数、人口は R7.4 末時点のもの(参照:京丹後市ホームページ)

5 回収サンプルの内訳

(住んでいる地域)

峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	未回答
237	147	225	106	42	100	5
27%	17%	26%	5%	12%	12%	1%

(年代)

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答
27	17	92	128	185	224	155	32	4
3%	2%	11%	15%	21%	26%	18%	4%	0%

(職業)

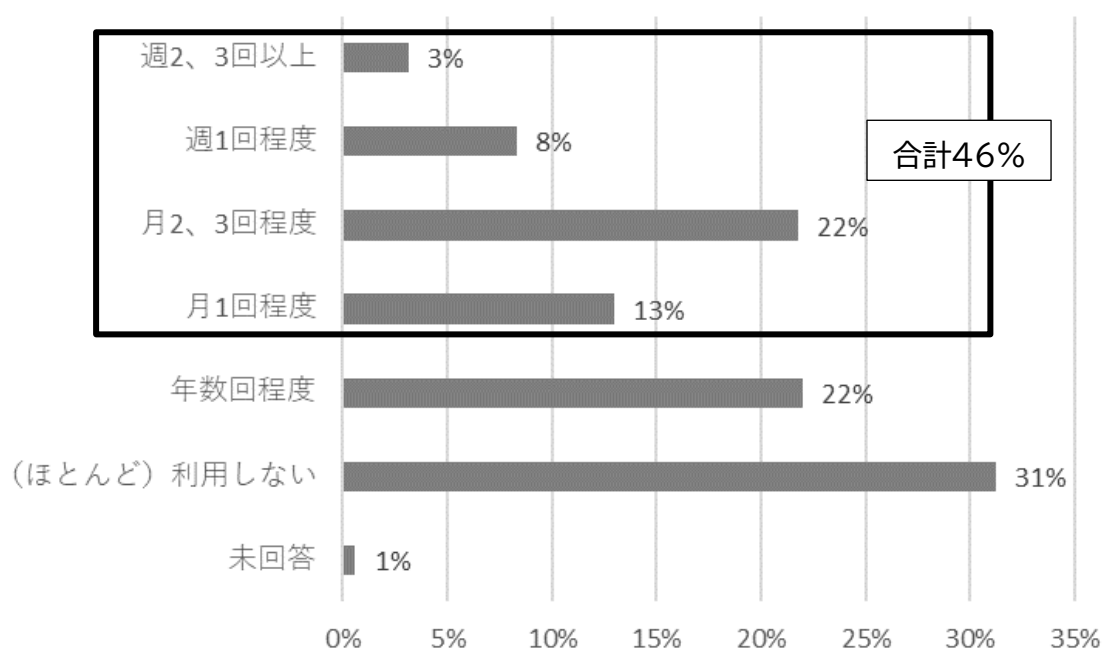
学生	会社員	公務員	自営業	アルバイト	無職	その他	未回答
26	208	100	81	173	222	38	17
3%	24%	12%	9%	20%	26%	4%	2%

6 集計結果

図書館を月1回以上利用する 46%

〔問〕市立図書館(室)を利用したことがありますか

図書館の利用頻度について、「月2、3回程度」、「年数回程度」と答えた人がそれぞれ22%あり、選択肢の中では最も高い割合となった。一方で「(ほとんど)利用しない」と答えた人の割合が30%を超えている。



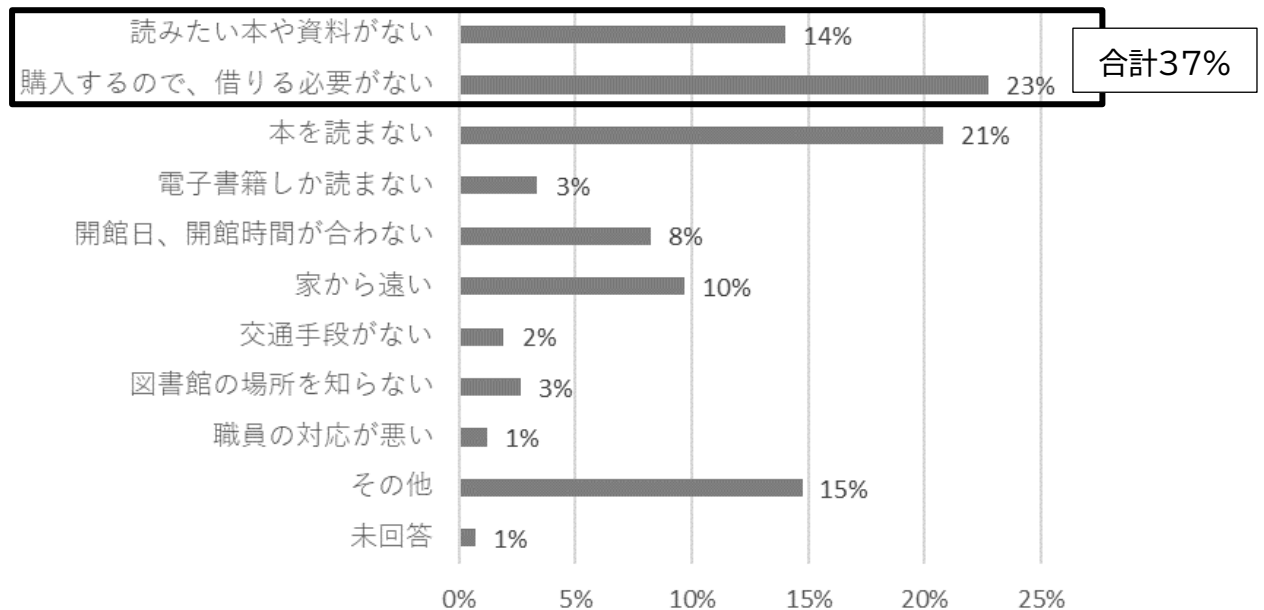
【回答データ】

	週2、3回 以上	週1回 程度	月2、3回 程度	月1回 程度	年数回 程度	利用 しない	未回答	合計
割合	3%	8%	22%	13%	22%	31%	1%	100%
回答数(人)	27	72	188	112	190	270	5	864

図書館を利用しない理由は「購入するので必要がない」がトップ

〔問〕〔前設問で(ほとんど)利用しないと回答した方のみ〕図書館(室)を利用しない理由は何ですか

図書館を利用しない理由として、「読みたい本が図書館にない」、「本は購入する」と答えた人の合計が37%にのぼる。一方で、「本を読まない」人が21%という結果になった。



【回答データ】

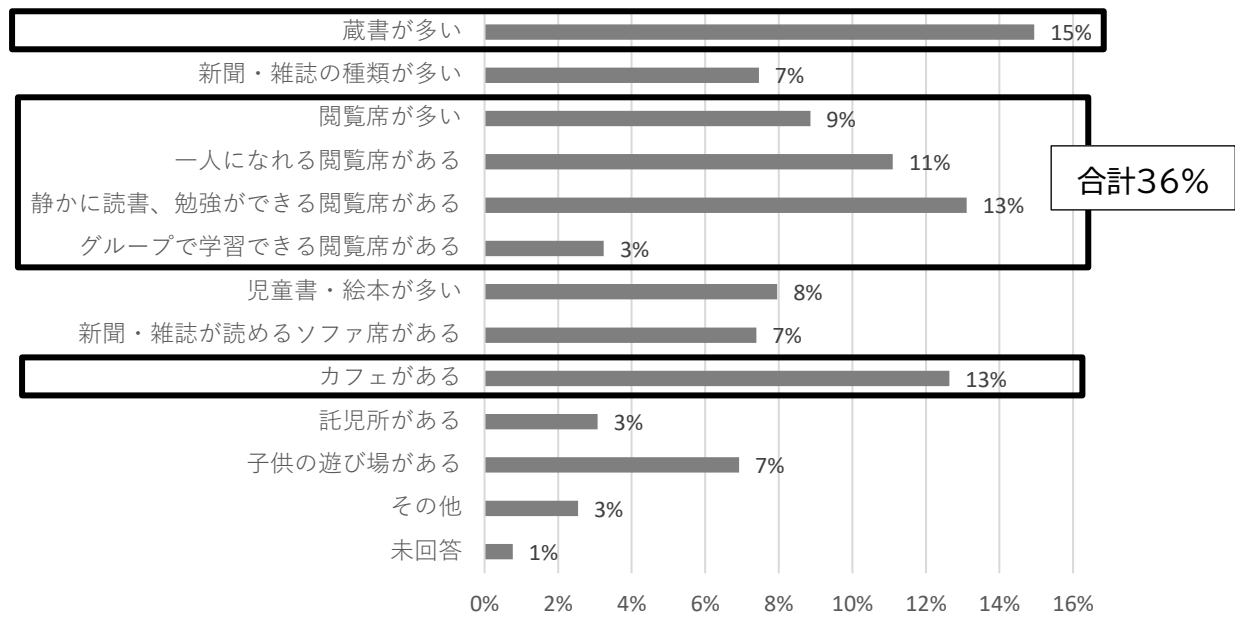
	読みたい本や資料がない	購入するので、借りる必要がない	本を読まない	電子書籍しか読まない	開館日、時間が合わない	家から遠い	交通手段がない	図書館の場所を知らない	職員の対応が悪い	その他	未回答	合計
割合	14%	23%	21%	3%	8%	10%	2%	3%	1%	15%	1%	100%
回答数	58	94	86	14	34	40	8	11	5	61	3	414

新図書館に望むものは「閲覧席の豊富さ」と「蔵書の多さ」

〔問〕新しい図書館が複合施設として、どんな施設であれば利用してみようと思いますか(複数回答可)

可

図書館機能の根幹である「蔵書が多い」が15%でトップ。「静かに読書、勉強ができる閲覧席がある」、「一人になれる閲覧席がある」など閲覧席に関する回答については、合計で36%となっている。また、「カフェがある」についても13%と一定数の需要がある。



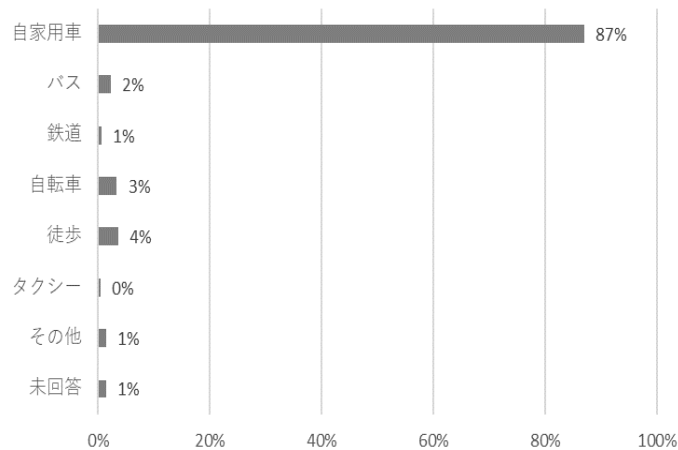
【回答データ】

	蔵書が多い	新聞・雑誌の種類が多い	閲覧席が多い	一人になれる閲覧席がある	静かに読書、勉強ができる閲覧席がある	グループで学習できる閲覧席がある	児童書・絵本が多い	新聞・雑誌が読めるソファ席がある	カフェがある	託児所がある	子供の遊び場がある	その他	未回答	合計
割合	15%	7%	9%	11%	13%	3%	8%	7%	13%	3%	7%	3%	1%	0%
回答数	447	223	265	332	392	97	238	221	378	92	207	76	23	0

自家用車での利用が87%、近隣からの利用が予想される。

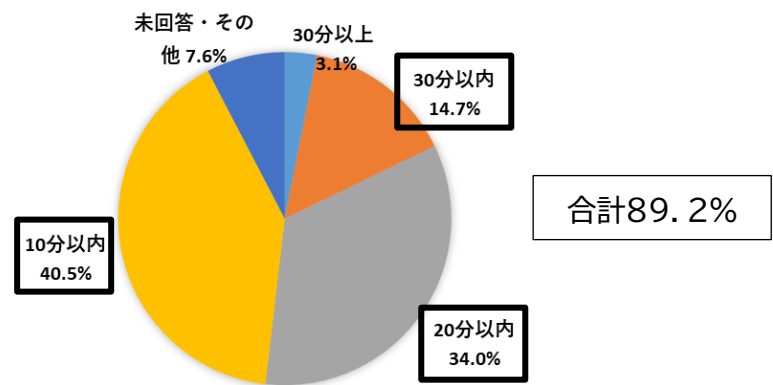
〔問〕都市拠点区域に図書館が出来た場合、利用する時の主な交通手段と所要時間は

主な交通手段は「自家用車」が87%であり、他の交通手段はほとんど利用が見込まれない。
回答者のうち70%が、峰山、大宮、網野の在住者であるため、所用時間30分以内の方が89.2%を占める。



【回答データ】

	自家用車	バス	鉄道	自転車	徒歩	タクシー	その他	未回答	合計
割合	87%	2%	1%	3%	4%	0%	1%	1%	100%
回答数(人)	775	20	5	30	32	4	13	13	892



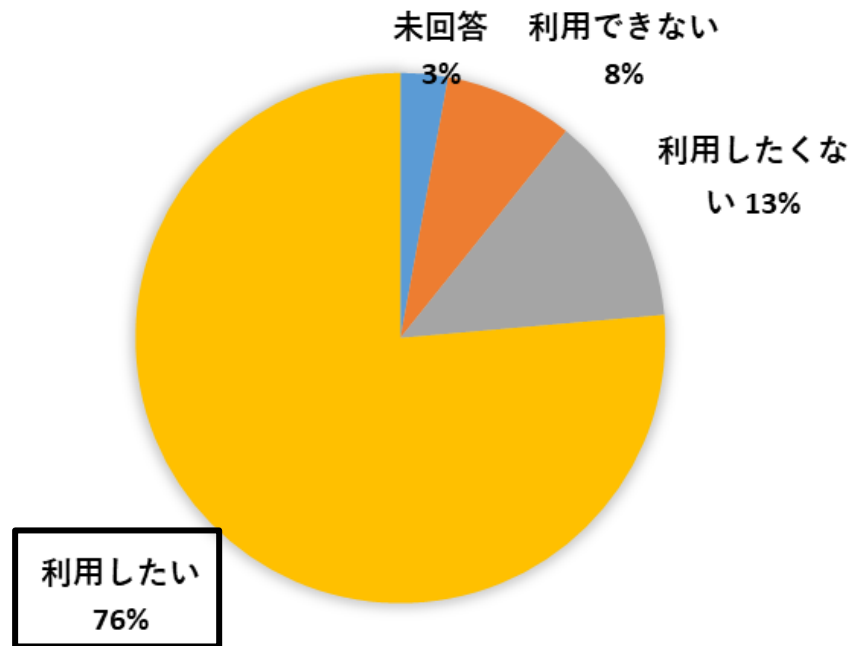
【回答データ】

	10分以内	20分以内	30分以内	30分超	未回答・その他	合計
割合	41%	34%	15%	3%	8%	100%
回答数(人)	350	294	127	27	66	864

全回答者のうち、新図書館を利用したい人76% 期待は高い

〔問〕上記時間がかかっても利用したいか

全回答者のうち76%が新図書館を利用したいと回答。新図書館に対する期待が高いことが窺える。一方、「利用できない」と回答された方は、主に距離やアクセスの悪さを理由としている。

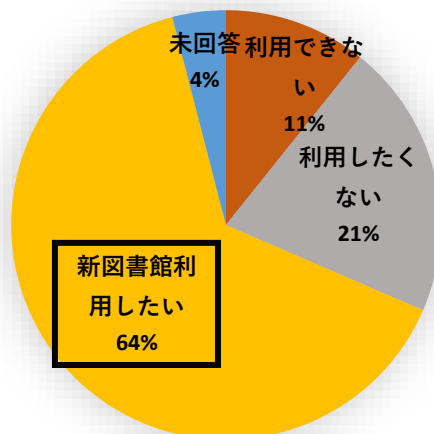


【回答データ】

	利用したい	利用したくない	利用できない	未回答	合計
割合	76%	13%	8%	3%	100%
回答数(人)	660	111	68	25	864

「図書館を利用しない人」のうち、「新図書館を利用したい人」64%

「市立図書館(室)を利用したことがありますか」の問で「(ほとんど)利用しない」と回答した人のうち64%が「新図書館を利用したい」と回答している



【回答データ】

	利用したい	利用したくない	利用できない	未回答	合計
割合	64%	21%	11%	4%	100%
回答数(人)	174	56	29	11	270

利用できない理由(※一部抜粋)

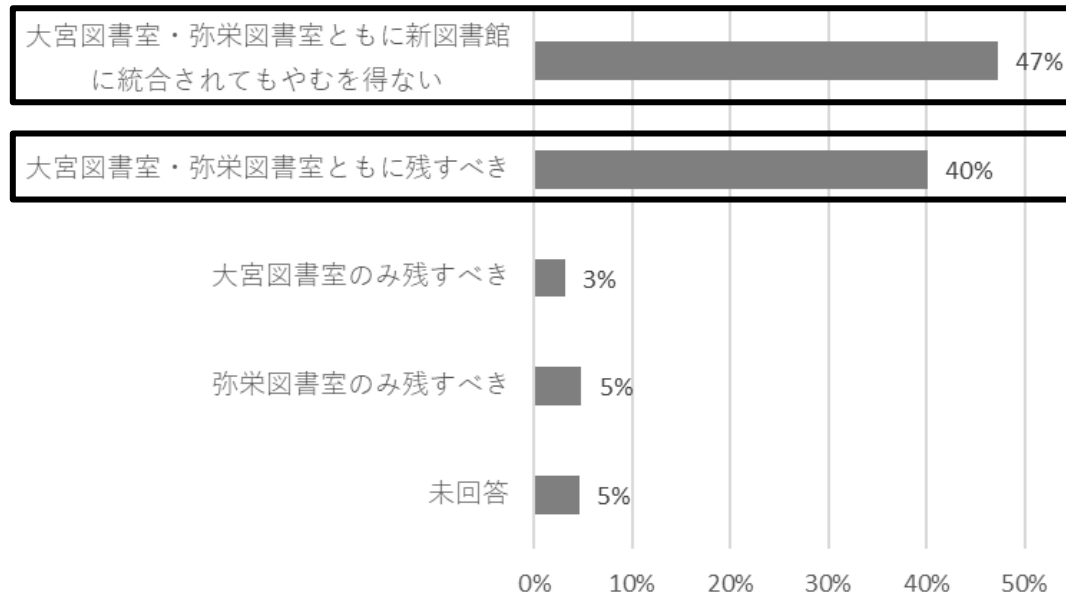
- ・たぶん開館時間に合わない。(丹後町、40代)
- ・授乳や子育てのルーティンを考えると難しい部分もある。(大宮町、30代)
- ・車を手放した場合遠すぎる。(大宮町、60代)
- ・親がいないと行くことができないから。(大宮町、10代)
- ・1人で利用が難しい。介助が必要なため。(峰山町、80代以上)
- ・高齢となると行く手段が不安。(丹後町、60代)
- ・免許返納を視野に入れる年齢になり、弥栄図書館の合併は悲しい。バス乗継ぎでの利用は不可能かな。(弥栄町、80代以上)
- ・貸し借りに行くには距離がある。(丹後町、60代)
- ・行く手段が限られているので。(大宮町、50代)
- ・蔵書が充実していれば利用したいが、行く術がない。(久美浜町、30代)
- ・開館時間が合わないため。(大宮町、20代)
- ・遠いので運転が不安。(久美浜町、60代)
- ・時間、交通費を考えると不便。(丹後町、50代)
- ・親が仕事をしていて送迎する時間がない(大宮町、50代)

大宮図書室・弥栄図書室の存続について、意見が分かれる

〔問〕市の中心的な図書館として、十分な規模や機能を備えた新たな図書館が整備された場合

あなたの考え方に一番近いものを一つ選んでください。

大宮図書室と弥栄図書室の統合について、「やむを得ない」と回答した人が47%、「どちらを残すべき」と回答した人が40%と意見が拮抗している。



【回答データ】

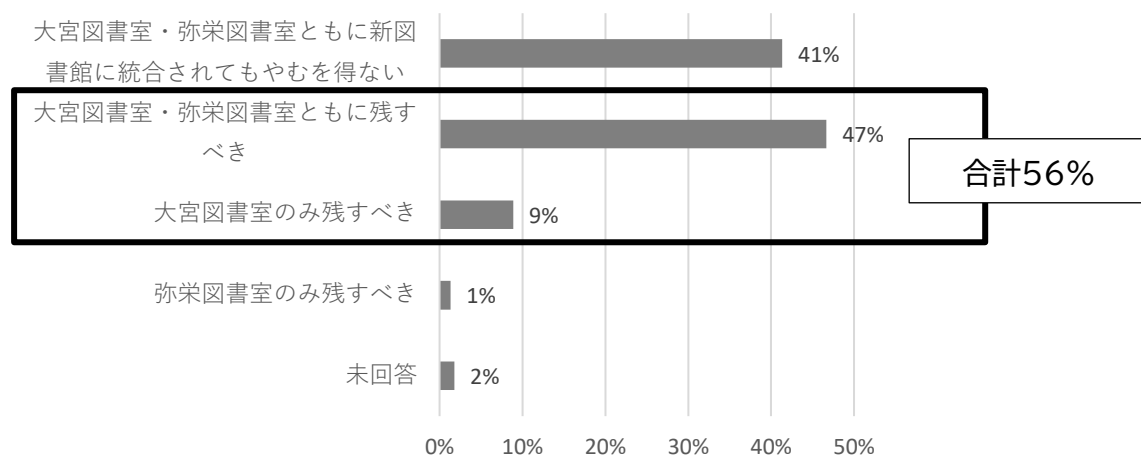
	大宮・弥栄の統合 やむなし	大宮・弥栄ともに 残すべき	大宮のみ 残すべき	弥栄のみ 残すべき	未回答	合計
割合	47%	40%	3%	5%	5%	100%
回答数(人)	408	347	27	42	40	864

なお、大宮町在住者の回答では「大宮図書室・弥栄図書室ともに残すべき」「大宮図書室を残すべき」の合計が56%となっている。弥栄町在住者の回答では「大宮図書室・弥栄図書室ともに残すべき」「弥栄図書室を残すべき」の合計が57%となっている。

※次頁参照

〔問〕市の中心的な図書館として、十分な規模や機能を備えた新たな図書館が整備された場合
あなたの考え方に一番近いものを一つ選んでください。

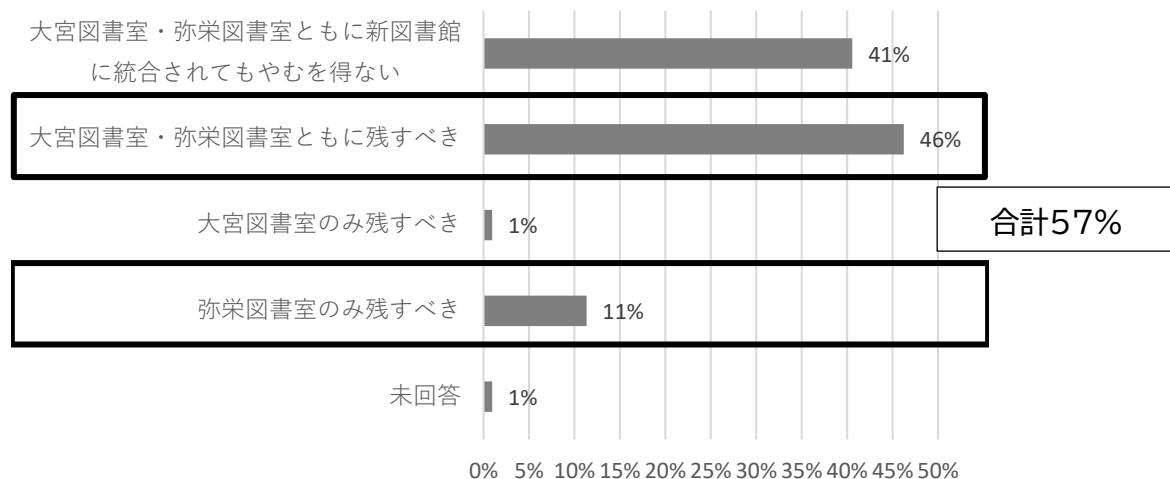
【大宮町在住者の回答】



【回答データ】

	大宮・弥栄の統合やむなし	大宮・弥栄ともに残すべき	大宮のみ残すべき	弥栄のみ残すべき	未回答	合計
割合	41%	47%	9%	1%	2%	100%
回答数(人)	93	105	20	3	4	225

【弥栄町在住者の回答】



【回答データ】

	大宮・弥栄の統合やむなし	大宮・弥栄ともに残すべき	大宮のみ残すべき	弥栄のみ残すべき	未回答	合計
割合	41%	46%	1%	11%	1%	100%
回答数(人)	43	49	1	12	1	106

「統合やむなし」の理由(※一部抜粋)

- ・予算や職員にも限りがある。中央図書館を充実させた方が利用者にとってもいいと思います。(大宮町、40代)
- ・大宮図書室を利用したいが、席が少なくゆっくり座って勉強や読書が出来ないことが多いため。(峰山町、20代)
- ・大宮在住のため大宮図書室を利用していましたが、本も限られているため、現在はあみの図書館を利用しています。車がある大人は統合しても大きな問題はありませんが普段図書室で勉強するために自転車で来ている学生の子達もいるので図書室という形でなくても勉強スペースは確保してあげて欲しいと願います。(大宮町、30代)

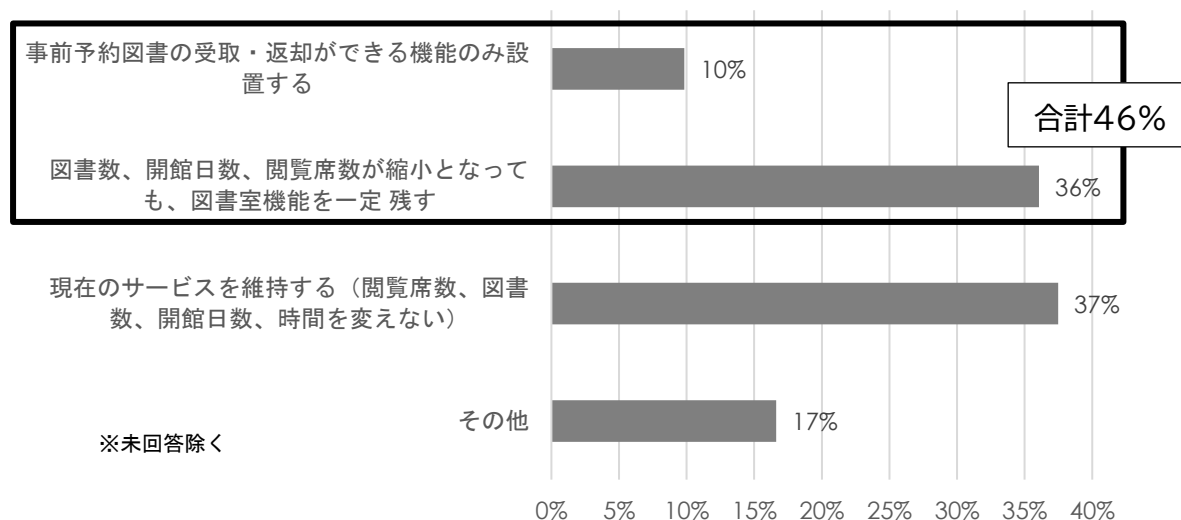
「どちらも残すべき」の理由(※一部抜粋)

- ・こどもたちが自力で行ける距離にあるべき。(網野町、40代)
- ・町に1つずつはあってほしい。車がない人は困るから。(大宮町、40代)
- ・子育て世代としては、小さくても近くに図書館があるのはありがたい。おはなし会の行きやすさも含めて。(網野町、40代)
- ・新しい場所はどこからも近いわけではなく、学生は自分で行くことができない人も多いと思うから。また、勉強する場所がなくなり、困るから。(大宮町、10代)

【大宮図書室】 「機能縮小やむなし」とする意見が多数

〔問〕「残すべき」とした図書室にはどのような運営形態を望みますか あなたの考え方に一番近いものをそれぞれ一つ選んでください <大宮図書室>

受取・返却機能のみ設置するが10%、規模が縮小となっても図書館機能を一定残すが36%となっており、多数の方が図書館機能の縮小に理解を示している。一方、現在のサービス維持を希望する方は37%となっている。



【回答データ】

	事前予約 図書の受 取・返却 機能のみ 設置する	図書数、 開館日 数、閲覧 席数が縮 小となっ ても、図 書室機能 を一定残 す	現在の サービス を維持す る（閲覧 席数、図 書数、開 館日数、 時間を変 えない）	その他	合計
割合	10%	36%	37%	17%	100%
回答数(人)	42	154	160	71	427

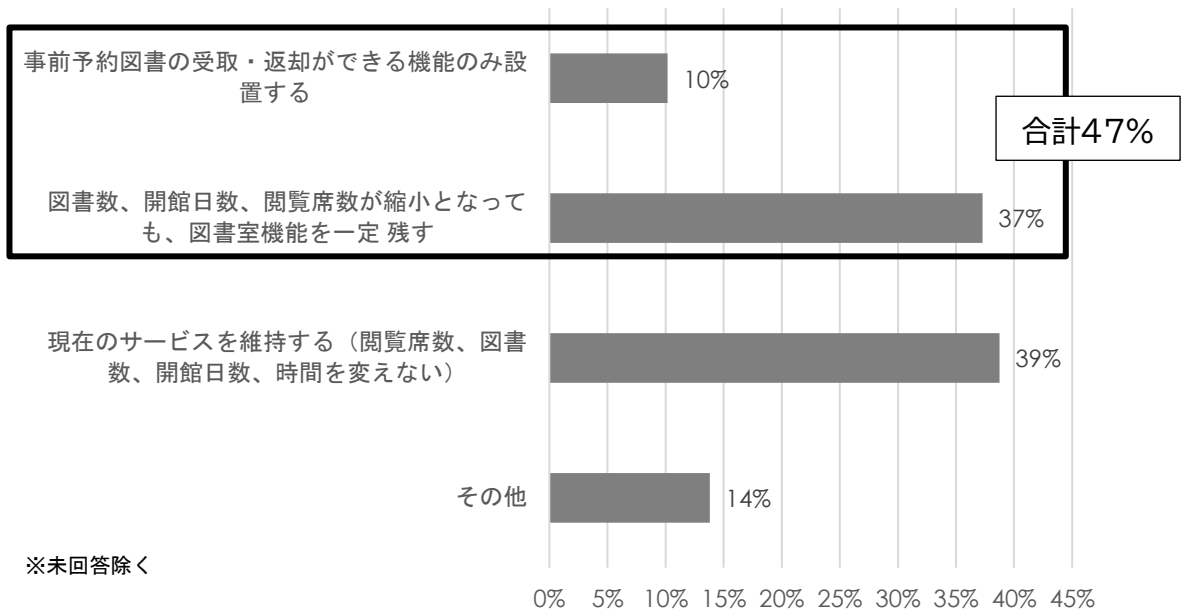
【弥栄図書室】 「機能縮小やむなし」とする意見が多数

〔問〕「残すべき」とした図書室にはどのような運営形態を望みますか あなたの考え方に一番近いものをそれ

ぞれ一つ選んでください <弥栄図書室>

受取・返却機能のみ設置するが10%、規模が縮小となっても図書館機能を一定残すが37%となっており、多数の方が図書館機能の縮小に理解を示している。

一方、現在のサービス維持を希望する方は39%となっている。

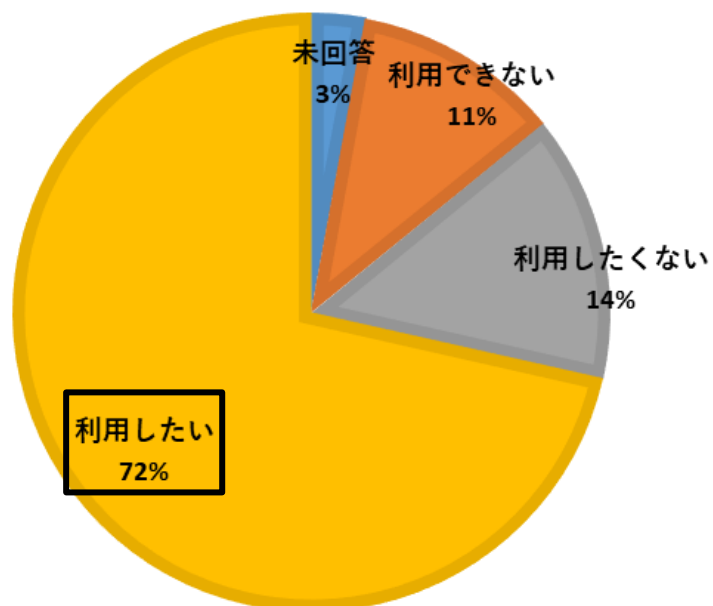


【回答データ】

	事前予約 図書の受 取・返却 機能のみ 設置する	図書数、 開館日 数、閲覧 席数が縮 小となっ ても、図 書室機能 を一定残 す	現在の サービスを 維持する （閲覧 席数、図 書数、開 館日数、 時間を変 えない）	その他	合計
割合	10%	37%	39%	14%	100%
回答数(人)	42	154	160	57	413

「大宮・弥栄ともに残すべき」人のうち「新図書館を利用したい」72%

「市の中心的な図書館として、十分な規模や機能を備えた新たな図書館が整備された場合あなたの考え方に一番近いものを一つ選んでください」の問で、「大宮図書室と弥栄図書室ともに残すべき」と回答した人のうち、72%が「新図書館を利用したい」と回答している。



【回答データ】

	利用したい	利用したくない	利用できない	未回答	合計
割合	72%	14%	11%	3%	100%
回答数(人)	248	50	39	10	347

自由記載(今後のあみの図書館、丹後図書室、久美浜図書室について)

(問)「答申」では、あみの図書館は現状の機能を有する施設として継続、丹後図書室、久美浜図書室は統合した施設から遠距離にあるため市民の利便性を考慮し、分館として維持する分館として維持する、とされています。今後のあみの図書館、丹後図書室、久美浜図書室の運営について、望むこと等あれば、記入してください。

※一部抜粋

- ・継続してほしいです。京丹後市、本屋がどんどん潰れ、子ども達が本を手取る環境がないですよ。(大宮町、30代)
- ・それぞれの図書館に風情があり、魅力がある。ぜひそのまま残してもらいたいし、どの図書館にも併設で、飲食スペース(持ち込みできる)も作ってもらえるととても嬉しい。(弥栄町、30代)
- ・子供が小さい時は、読み聞かせや、絵本や紙芝居などを借りに沢山利用しました。子育て時期は家から近くにあると便利なので継続していただきたい。(丹後町、60代)
- ・すべての市内の図書館は統合して新たに大きな図書館を建設することを望みます。(網野町、50代)
- ・あみの図書館は絵本の種類が豊富で利用している。ただ、古い本が多いのが難点である。丹後図書室もよく利用している。施設もきれいで新しい本はばかりあるので、時間がかかってでも利用しているし、利用する価値がある。スタッフの方も優しく丹後図書室のような環境が他の図書館でも実現できるといい。(峰山町、30代)
- ・新しい図書館だけが便利にならないよう、すべての図書館で充実した機能と運営を望みます。(網野町、30代)
- ・街の本屋がなくなり、本との関わりがもてる図書館は、とても重要な場所だと思う。もっと本が買える予算、利用者がもっと本のリクエストができる予算も付けて欲しいです。(網野町、50代)
- ・比較的きれいな状態のため今後の状況を見て検討でいいと思う。(弥栄町、40代)
- ・図書館は、小さくても子供や高齢者の居場所としての機能があると思う。子育ての母親や高齢者の孤立や虐待が問題になる中、居場所を無くすという方向は誤っていると考えます。居場所づくりとして、例えばサロンや出張塾の会場として、他の使い方ができるように、柔軟な利用ができる方向を模索すべきと考えます。(峰山町、40代)
- ・利用者の多い曜日、時間を調査した上で開館を縮小してでも機能は残すべき。(丹後町、50代)

自由記載(今後の市立図書館、図書室全体の整備、在り方について)

(問)今後の市立図書館、図書室全体の整備、在り方についてご意見があれば記入してください

※一部抜粋

- ・子供達の為にも、利用しやすい図書館を考えて頂きたいです。大人も通いたくなるような図書館をまっています。(久美浜町、40代)
- ・弥栄と丹後を利用しています。職員の方に本選びの相談ができて、いつも親切にして下さるのでありがたいです。本だけではなく、職員も”財産”だと思います。(丹後町、50代)
- ・開館時間を早めてほしい。(大宮町、10代)
- ・本離れが進んではいますが、子どもの居場所づくり、子どもだけではなく成人の学習スペースや高齢者の居場所づくりのために、人が気軽に集える場所として機能する(静かなスペースと交流できる場所がある)ところにして欲しいです。(大宮町、40代)
- ・本好きな人は一定数いると思います。人気の本は予約が10人以上入っている。課題は読書に固執しすぎず、コミュニティの場所づくりだと思います。保育園や学校単位で利用できたり、介護施設の方たちも来れるような。(大宮町、50代)
- ・施設新築は大反対です！施設の適正な管理の出来ない市行政には新しい施設を作って欲しくありません。既存施設の活用を脳みそフル回転で考えて下さい。(峰山町、50代)
- ・最近、4歳の子どもの初めて峰山図書館に連れて行きました。人が少ない時間だったので、小声で読み聞かせをして、気に入った絵本を借りて帰りましたが、「たのしかったね」と言っていました。なるべく本に触れさせたいと思いながら、たくさんの本を購入するのは厳しいと思っていたので、図書館を楽しい所と感じてくれたのが嬉しかったです。しかし、図書館は静かにしないといけない場所というイメージが強く、小さい子どもを連れて行くのが難しいという方が多いと思います。新しくできる図書館には、まわりを気にせず子どもと絵本を選べたり、読み聞かせをすることができれば、より利用しやすくなるように思います。(峰山町、30代)
- ・簡単に統合や、新しく新設する方向に持って行って欲しくない。現状の資源をどうやったら維持費を増やさずに維持できるか、今ある資源を活用して出来ることはないかという点に重点を置いて欲しい。そんなに市の財源がないのにお金を使って市民の負担をあげないでもらいたい。(弥栄町、30代)
- ・図書館を利用している人の事をまったく考えていない案。利用しない人が考えた案としか思えない。(大宮町、30代)

市立図書館、図書室の今後の在り方に関するアンケート 調査報告書

【30～40代 回答抽出版】

令和 7 年度調査

子育て世代である30～40代の回答を抽出したデータは下記のとおり。30代の回答は全体の11%、40代の回答は全体の15%と比較的少ない構成率であったことから、内容を精査するため抽出を行ったもの。

1 回収結果

有効回収 220人(30～40代回収数)

／864人(全体回収数)

※回答構成率 26%

2 回収サンプルの内訳

(住んでいる地域)

峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	未回答
73	30	61	26	4	26	0
33%	14%	28%	12%	2%	12%	0%

(年代)

30代	40代
92	128
42%	58%

(職業)

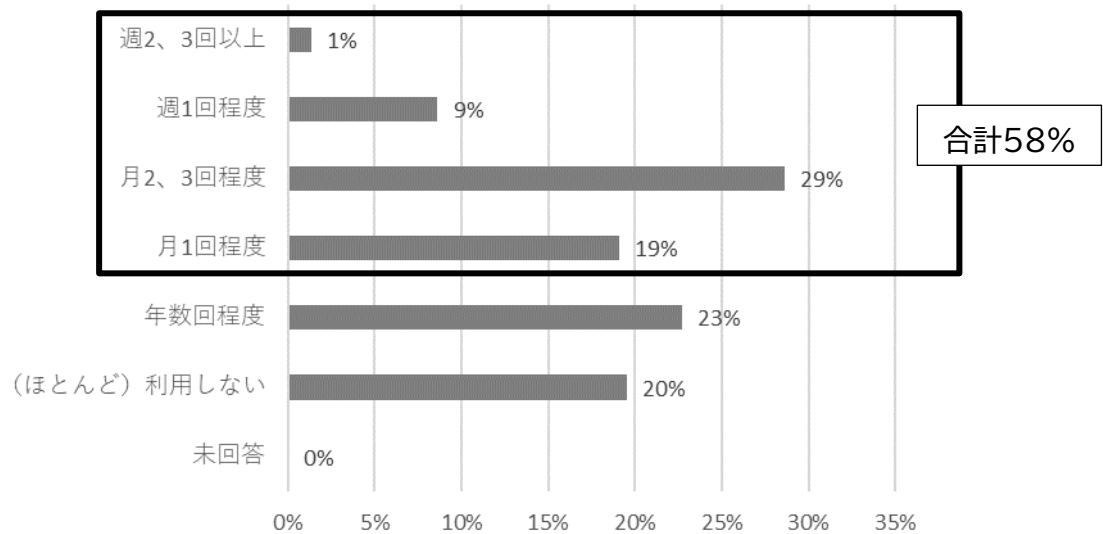
学生	会社員	公務員	自営業	アルバイト	無職	その他	未回答
1	91	48	20	42	13	4	1
0%	41%	22%	9%	19%	6%	2%	0%

3 集計結果

図書館を月1回以上利用する 58%(対全体回答+12%)

〔問〕市立図書館(室)を利用したことがありますか

図書館の利用頻度について、「月2、3回程度」と答えた人が29%あり、選択肢の中では最も高い割合となった。「月1回程度」以上の利用合計が58%であり、全体回答の46%に対し12%高い結果となった。



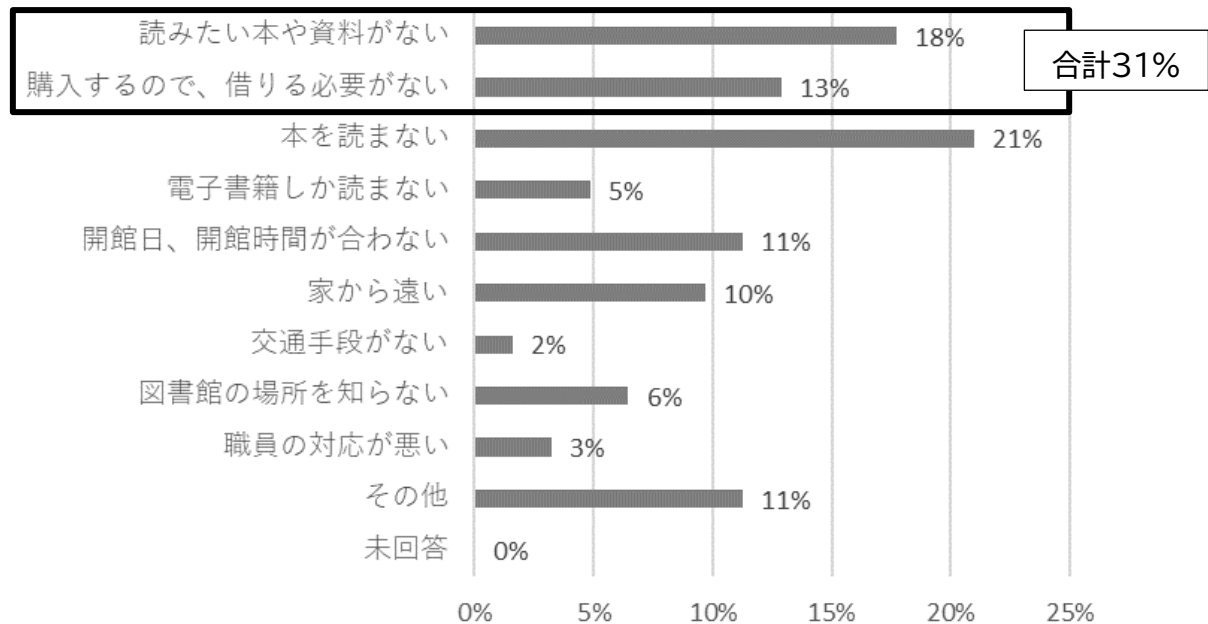
【回答データ】

	週2、3回 以上	週1回 程度	月2、3回 程度	月1回 程度	年数回 程度	利用 しない	未回答	合計
割合	1%	9%	29%	19%	23%	20%	0%	100%
回答数(人)	3	19	63	42	50	43	0	220

図書館を利用しない理由は「本を読まない」がトップ

〔問〕〔前設問で(ほとんど)利用しないと回答した方のみ〕図書館(室)を利用しない理由は何ですか

図書館を利用しない理由として、「読みたい本が図書館にない」、「本は購入する」と答えた人の合計が31%(全体回答37%)、「本を読まない」人が21%(全体回答21%)となった。30～40代の回答についても、全体回答と概ね同じ傾向と言える。



【回答データ】

	読みたい本や資料がない	購入するので、借りる必要がない	本を読まない	電子書籍しか読まない	開館日、時間が合わない	家から遠い	交通手段がない	図書館の場所を知らない	職員の対応が悪い	その他	未回答	合計
割合	18%	13%	21%	5%	11%	10%	2%	6%	3%	11%	0%	100%
回答数	11	8	13	3	7	6	1	4	2	7	0	62

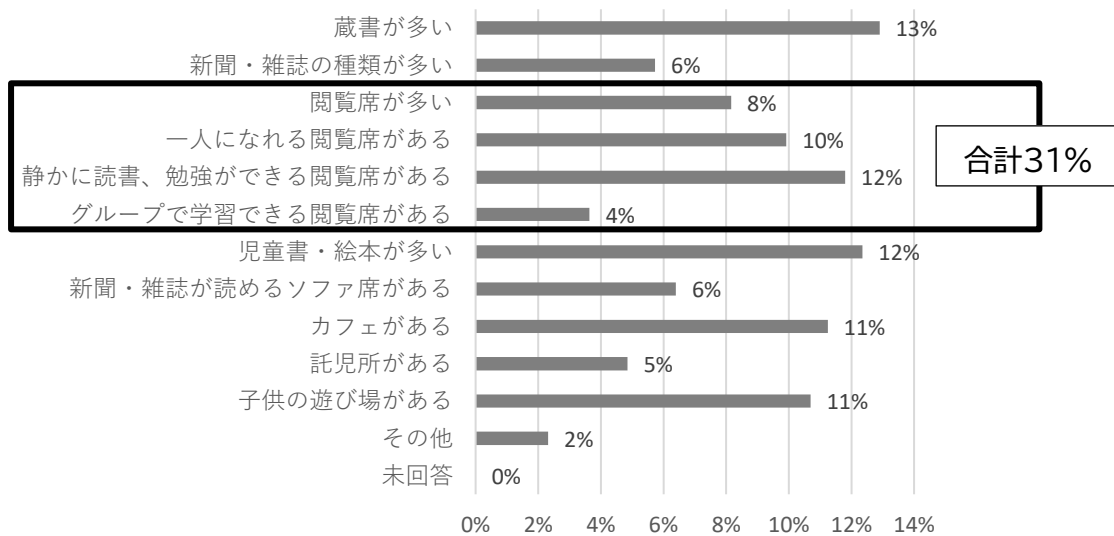
新図書館に望むものは「閲覧席の豊富さ」「蔵書の多さ」「絵本の多さ」

【問】新しい図書館が複合施設として、どんな施設であれば利用してみようと思いますか(複数回答)

【可】

図書館機能の根幹である「蔵書が多い」が13%でトップ(全体回答15%)。「静かに読書、勉強ができる閲覧席がある」、「一人になれる閲覧席がある」など閲覧席に関する回答については、合計で31%(全体回答36%)となっており、全体回答と同じ傾向にある。

一方、「児童書・絵本が多い」が11%(全体回答8%)、「子供の遊び場がある」が11%(全体回答7%)と全体回答を上回る需要の高さとなっている。



【回答データ】

	蔵書が多い	新聞・雑誌の種類が多い	閲覧席が多い	一人になれる閲覧席がある	静かに読書、勉強ができる閲覧席がある	グループで学習できる閲覧席がある	児童書・絵本が多い	新聞・雑誌が読めるソファ席がある	カフェがある	託児所がある	子供の遊び場がある	その他	未回答	合計
割合	13%	6%	8%	10%	12%	4%	12%	6%	11%	5%	11%	2%	0%	100%
回答数	117	52	74	90	107	33	112	58	102	44	97	21	0	907

自家用車での利用が94%、近隣からの利用が予想される。

〔問〕都市拠点区域に図書館が出来た場合、利用する時の主な交通手段と所要時間は

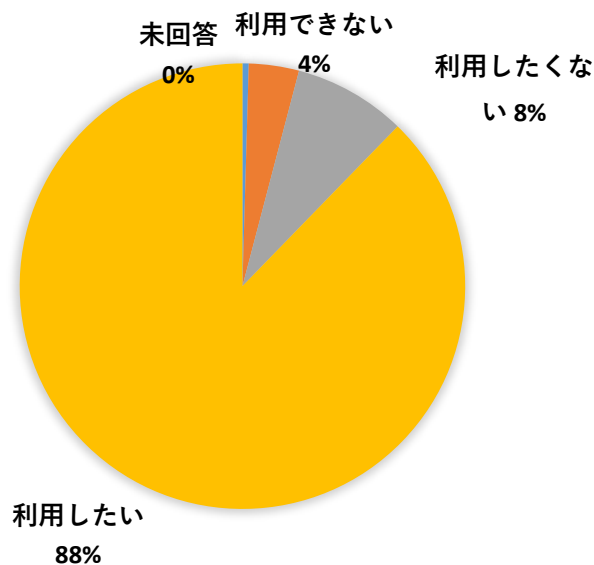
主な交通手段は「自家用車」が94%であり、他の交通手段はほとんど利用が見込まれない。また、回答者のうち75%が、峰山、大宮、網野の在住者であるため所用時間30分以内の方が95%を占める。いずれも全体回答と傾向は同じである。

※グラフ等については割愛

新図書館を利用したい人88%(全体回答+12%) 期待は高い

〔問〕上記時間がかかっても利用したいか

30～40代の回答者のうち88%(全体回答76%)が新図書館を利用したいと回答。新図書館に対する期待は非常に高い。一方、「利用できない」と回答した人は距離や開館時間を理由としている。

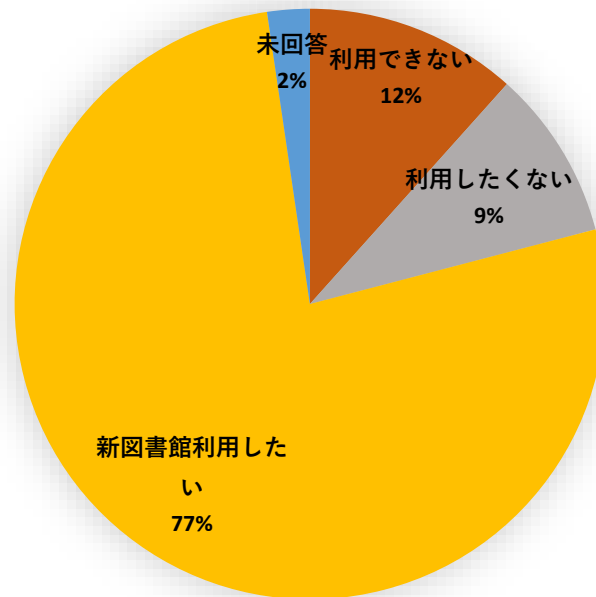


【回答データ】

	利用したい	利用したくない	利用できない	未回答	合計
割合	88%	8%	4%	0%	100%
回答数(人)	193	18	8	1	220

「図書館を利用しない人」のうち、「新図書館を利用したい人」77%

「市立図書館(室)を利用したことがありますか」の問で「(ほとんど)利用しない」と回答した人のうち、77%が「新図書館を利用したい」と回答している。
全体回答64%に比べ13%高く、30～40代の回答者の方が関心は高いと言える。



【回答データ】

	利用したい	利用したくない	利用できない	未回答	合計
割合	77%	9%	12%	2%	100%
回答数(人)	33	4	5	1	43

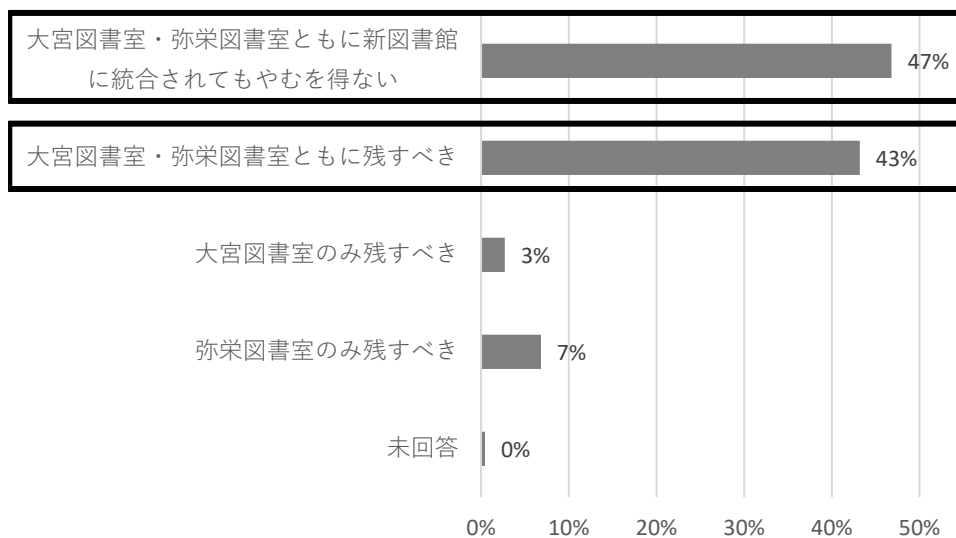
大宮図書室・弥栄図書室の存続について、意見が分かれる

〔問〕市の中心的な図書館として、十分な規模や機能を備えた新たな図書館が整備された場合

あなたの考え方に一番近いものを一つ選んでください。

大宮図書室と弥栄図書室の統合について、「やむを得ない」と回答した人が47%、「どちらを残すべき」と回答した人が43%と意見が拮抗している。

全体回答での「やむを得ない」47%、「どちらを残すべき」40%と傾向は同じである。



【回答データ】

	大宮・弥栄の統合 やむなし	大宮・弥栄ともに 残すべき	大宮のみ 残すべき	弥栄のみ 残すべき	未回答	合計
割合	47%	43%	3%	7%	0%	100%
回答数(人)	103	95	6	15	1	220

なお、大宮町在住者の回答では「大宮図書室・弥栄図書室ともに残すべき」「大宮図書室を残すべき」の合計が59%(全体回答56%)となっている。弥栄町在住者の回答では「大宮図書室・弥栄図書室ともに残すべき」「弥栄図書室を残すべき」の合計が61%(全体回答57%)となっている。

30～40代の方が各図書室を残してほしいとの要望が高い。

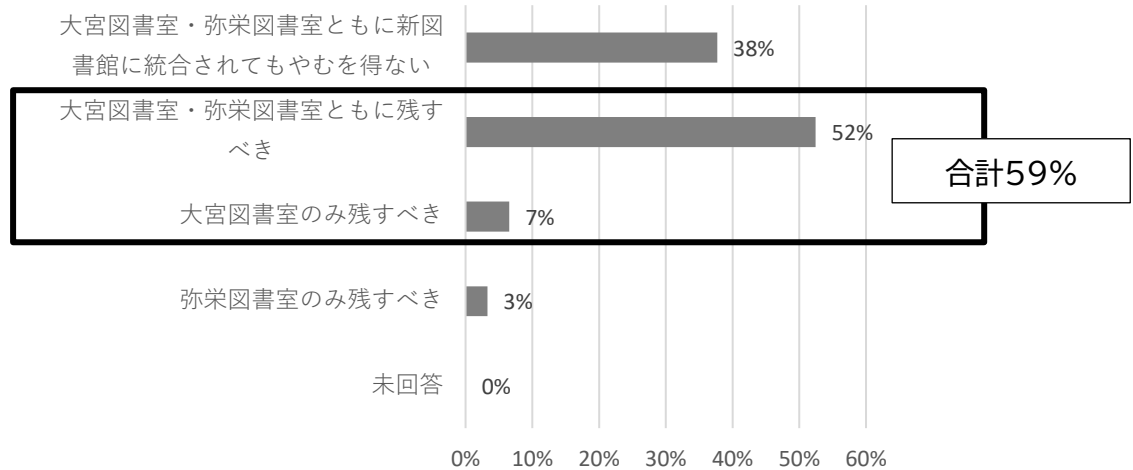
※次頁参照

30～40代回答

〔問〕市の中心的な図書館として、十分な規模や機能を備えた新たな図書館が整備された場合

あなたの考え方に一番近いものを一つ選んでください。

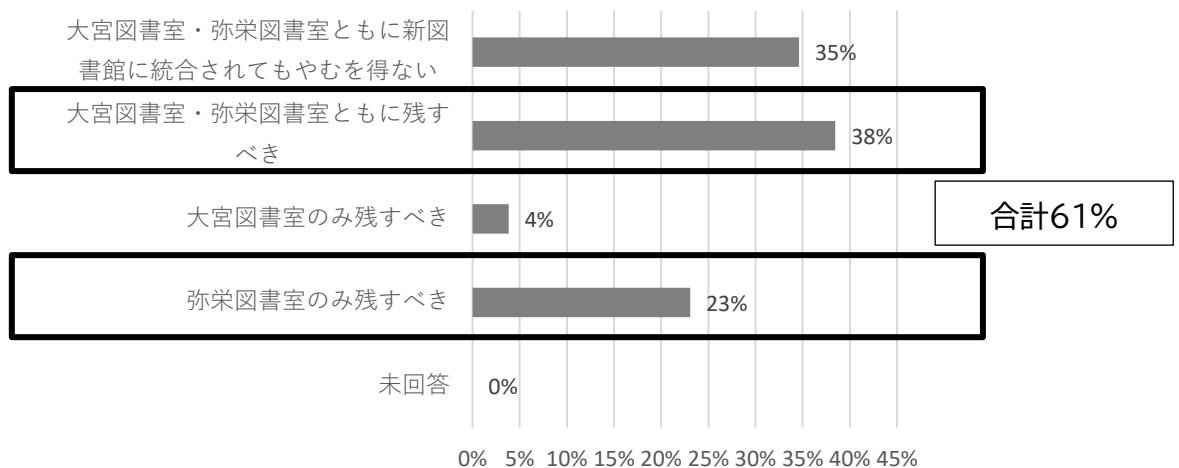
【大宮町在住者の回答】



【回答データ】

	大宮・弥栄の統合やむなし	大宮・弥栄ともに残すべき	大宮のみ残すべき	弥栄のみ残すべき	合計
割合	38%	52%	7%	3%	100%
回答数(人)	23	32	4	2	61

【弥栄町在住者の回答】



【回答データ】

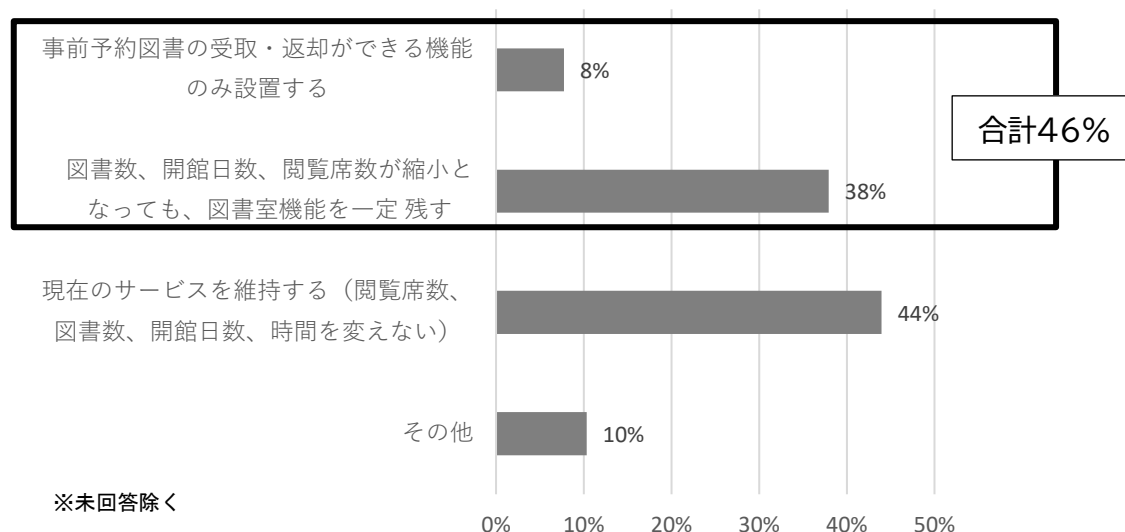
	大宮・弥栄の統合やむなし	大宮・弥栄ともに残すべき	大宮のみ残すべき	弥栄のみ残すべき	未回答	合計
割合	41%	46%	1%	11%	1%	100%
回答数(人)	43	49	1	12	1	106

【大宮図書館】 現在のサービス維持について需要が高い

〔問〕「残すべき」とした図書室にはどのような運営形態を望みますか あなたの考え方に一番近いものをそれぞれ一つ選んでください <大宮図書館>

受取・返却機能のみ設置するが8%(全体回答10%)、規模が縮小となっても図書館機能を一定残すが38%(全体回答36%)となっており、全体回答と傾向は同じである。

一方、現在のサービス維持を希望する方は44%(全体回答39%)となっており、30～40代の方が、現在のサービス維持について需要が高いと言える。



【回答データ】

	事前予約 図書の受 取・返却 機能のみ 設置する	図書数、 開館日 数、閲覧 席数が縮 小となっ ても、図 書室機能 を一定残 す	現在の サービスを 維持する（閲覧 席数、図 書数、開 館日数、 時間を変 えない）	その他	合計
割合	8%	38%	44%	10%	100%
回答数(人)	9	44	51	12	116

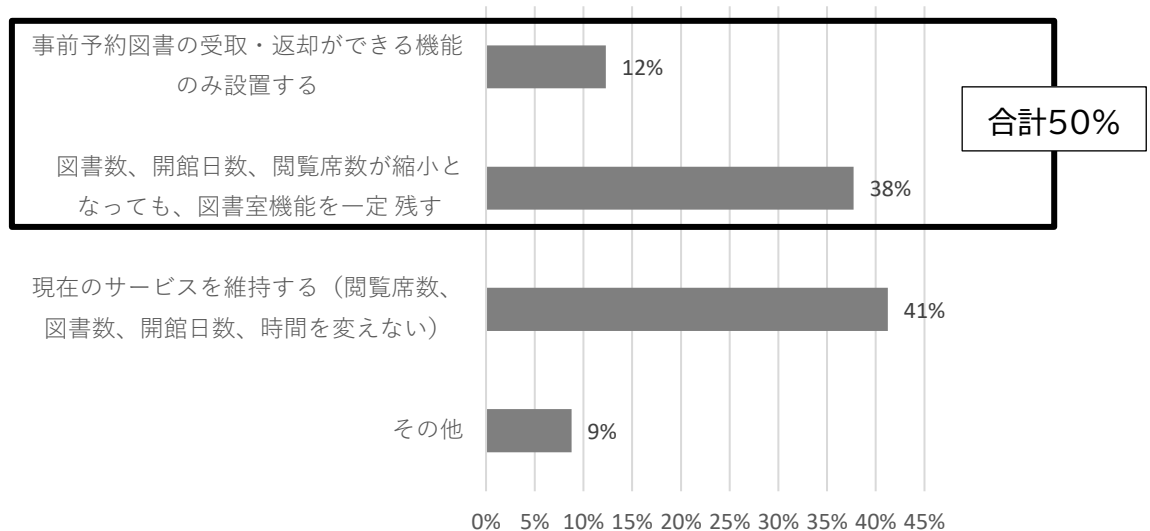
【弥栄図書室】「機能縮小やむなし」とする意見が多数

〔問〕「残すべき」とした図書室にはどのような運営形態を望みますか あなたの考え方に一番近いものをそれ

ぞれ一つ選んでください <弥栄図書室>

受取・返却機能のみ設置するが12%(全体回答10%)、規模が縮小となっても図書館機能を一定残すが38%(全体回答37%)となっており、全体回答と傾向は同じである。

また、現在のサービス維持を希望する方は41%(全体回答39%)となっており、全体回答と傾向は同じである。



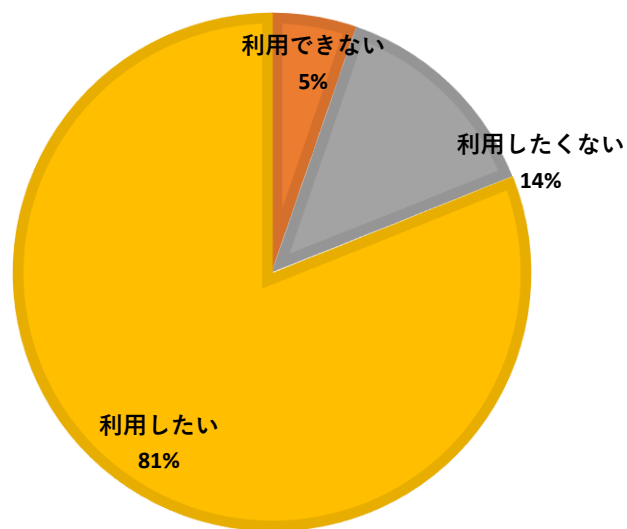
【回答データ】

	事前予約 図書の受 取・返却 機能のみ 設置する	図書数、 開館日 数、閲覧 席数が縮 小となっ ても、図 書室機能 を一定残 す	現在の サービス を維持す る（閲覧 席数、図 書数、開 館日数、 時間を変 えない）	その他	合計
割合	12%	38%	41%	9%	100%
回答数(人)	14	43	47	10	114

「大宮・弥栄ともに残すべき」人のうち「新図書館を利用したい」81%

「市の中心的な図書館として、十分な規模や機能を備えた新たな図書館が整備された場合あなたの考え方に一番近いものを一つ選んでください」の問で、「大宮図書室と弥栄図書室ともに残すべき」と回答した人のうち、81%(全体回答72%)が「新図書館を利用したい」と回答している。

全体回答に比べ、30～40代の回答者の方が関心は高いと言える。



【回答データ】

	利用したい	利用したくない	利用できない	未回答	合計
割合	81%	14%	5%	0%	100%
回答数(人)	77	13	5	0	95